

生徒心得

市川五中での約束事 ～集団生活を気持ちよく過ごすために～

【登下校】一日のスタートを大切にしよう。

- 1 原則として、8：00までは校舎に入らない。
- 2 8時15分までに着席する。
- 3 あいさつをきちんとする。
- 4 帰りの会終了後30分後には下校する。活動がある生徒は活動場所へ、ない生徒は速やかに下校する。残る場合は、必ず担任の先生、もしくは学年の先生に伝える。
- 5 登下校は交通ルールや公共のマナーを守る。
- 6 登下校の買い物、食べ歩き、寄り道などはしない。⇒行事等で弁当を購入する場合は、登校時に購入する。財布、お金は担任、担当の先生に預ける。
- 7 自転車での通学はしない。

中学校3年間で生徒の社会性を育っていく。

社会性を育てるために集団生活としての約束事を設定している。

【学習】集中して取り組む。

- 1 チャイム着席を守り、静かに授業の準備をする。移動教室などは休み時間中に移動して、授業の準備をする。
- 2 学習に必要な教科書、その他持ち物を忘れない。学校における用具は、担任の先生の指示に従う。
- 3 自分の持ち物には必ず記名する。
- 4 学習に関係のない遊び道具は持って来ない。

【休憩時間】ひと息ついて次の授業の準備をする。

- 1 10分間の休み時間は、次の授業の準備時間、トイレを済ませ、次の授業の準備をする。
- 2 廊下や階段は走らずに静かに歩く。また、教室や廊下では静かに過ごす。

【給食時間】好き嫌いせず、楽しく食事をしよう。

- 1 4校時終了後は手洗い、トイレを済ませ、素早く準備に取り掛かる。
- 2 自分の体のことを考え、好き嫌いをせず、しっかり食べる。

【清掃】きれいな環境にしよう。

- 1 校舎内外の美化に努める。汚さない意識とゴミが落ちていたら拾う気持ちを持つ。
- 2 清掃は五中のジャージか体操服で行う。また、昼休み終了までに着替えを済ませる。
- 3 清掃用具は大切に使い、もとの場所にきちんと戻す。
- 4 時間に清掃が終わるようにお互いが協力し合う。

【礼】 けじめをつけて礼儀正しく。

- 1 自分からすんで挨拶をする。(登下校時、日常生活やお客様に対して。)
- 2 職員室にはいるときには「〇年〇組(〇〇部)の(氏名)です。〇〇先生に用事があった来ました。」出るときには「失礼しました。」とはつきり言う。
- 3 用事のない生徒は職員室、事務室に入らない。また、職員室前の廊下は騒がしくしないようにする。
- 4 言葉遣いには気をつける。(その場に応じた言葉遣いができるようとする。)

【服装・頭髪など】 正しい服装で生活しよう

- 1 服装は本校で定められたものを着用する。(制服とジャージの区別をして生活する。)
※本校では令和7年度より制服の改定を実施した。在校生に関しては、新制服、改定以前の制服の着用も認める。ジャージ、体操服についても同様とする。衣替え期間を定めてないため、季節に応じた服装を自分で判断する。
 - ・熱中症予防対策として6月から9月末日までジャージ(体操服)による登下校を認める。
 - ・ネクタイ、リボンは着用しなくてもよい。

《夏服の場合》

- ・ズボン、スカートどちらも学校指定のブレザー着用可。
- ・ズボン、ワイシャツ、ネクタイ、ベルトは黒系統。
- ・スカート、ベスト、丸衿ブラウス、リボン、スカートの長さは膝が隠れる程度にする。

《冬服の場合》

- ・ズボン、スカートどちらも学校指定のブレザーを着用する。
- ・ズボン、ワイシャツ、ネクタイ、ベルトは黒系統。
- ・スカート、ベスト、丸衿ブラウス、リボン、スカートの長さは膝が隠れる程度にする。黒のタイツ着用可。
- ・コートは、紺か黒のスクールコート、または無地の派手でない色(黒、紺、グレー、茶等。判断のつかない場合は担任の先生に相談すること。)のダッフルコートまたはPコートとする。
- ・セーターを制服の下に着用することは認める。色は紺・白・灰・茶系統のものとする。カーディガンは認めない。
- ・防寒のために着るインナーは白・黒・紺・灰の柄がないものとし、首もとや袖から見えないように体操服の下に着る。

《季節共通》

- ・靴下…白、黒、紺、灰の単色などのワンポイントで華美でないもとする。くるぶしソックスは可。
- ・儀式的行事や式典、その他行事等の際は正装とする。
⇒正装とは、ブレザー、ネクタイ、リボン着用。Yシャツの腕まくりはしない。くるぶしが隠れる長さの靴下。ただし、天候、気温によってその都度判断する。

2 頭髪について

- ・中学生らしい髪型にする。
- ・脱色、染色、パーマ、つけ毛、整髪料の使用、極端に長短をつけた髪形など、特別な加工をしない。また、地肌の見える編み込みはしない。
- ・前髪が目にかかるないようにする。
- ・後ろ髪が肩にかかる場合はゴムで止める。(ゴムの色は黒、紺、茶などの落ち着いた色)

3 靴、鞄について

- ・指定の「五中バッグ」を利用する。ただし、部活動等でスクールバッグに入りきらない場合は、エナメルやリュックなどのスポーツバッグを利用してもよい。ただし、エナメルやリュックなどの指定されていないバッグだけでの登校はしない
- ・鞄に、キー ホルダー等は複数個つけないようにする。
- ・靴は華美にならないようにして、「体育の授業をはじめとする学校生活に支障を生じない。」ものとする。
- ・上履きは本校指定のものを使用する。

【その他】

- 1 欠席、遅刻、早退、忌引などの場合には事前に担任の先生に届け出る。(近くの友達に生徒手帳を預けるか、保護者に学校に連絡を入れてもらう。)
- 2 自分の学級以外の教室には入らない。また、必要なとき以外は他学年のフロアには行かない。
- 3 体育の授業での見学は生徒手帳に、保護者に見学する旨(理由)を書いてもらい、担任の先生の印をもらった後、体育の先生に届け出る。
- 4 病気などで保健室に行く場合は担任の先生、授業のときは教科担任の先生に伝え、連絡票に記入をしてもらう。
- 5 必要があつて貴重品を持ってきた場合には、必ず担任に預ける。
- 6 携帯電話、ゲーム等、必要の無いものは持つてこない。また、化粧をする、アクセサリー類(ピアス、ネックレス)をつけることは認めない。
- 7 水筒とペットボトルの中身は、水、お茶、スポーツドリンクとする。ペットボトルのゴミは家に持ち帰る。
- 8 制汗剤は、無香料でゴミの出ないものを使用する。
- 9 再登校する場合は、制服とする。ただし、再登校で諸活動をする場合は、部活動の移動着などの部で決められた服装でも可とする。もしくは、学校指定のジャージ、体操服でもよい。
- 10 日常生活と部活動でのけじめをつけるために、部活の服装で授業を受けない。
- 11 部活の着替えは、活動場所で行う。
- 12 最終下校時刻は次のように定める。 4月～9月 17:30 10月～3月 17:00